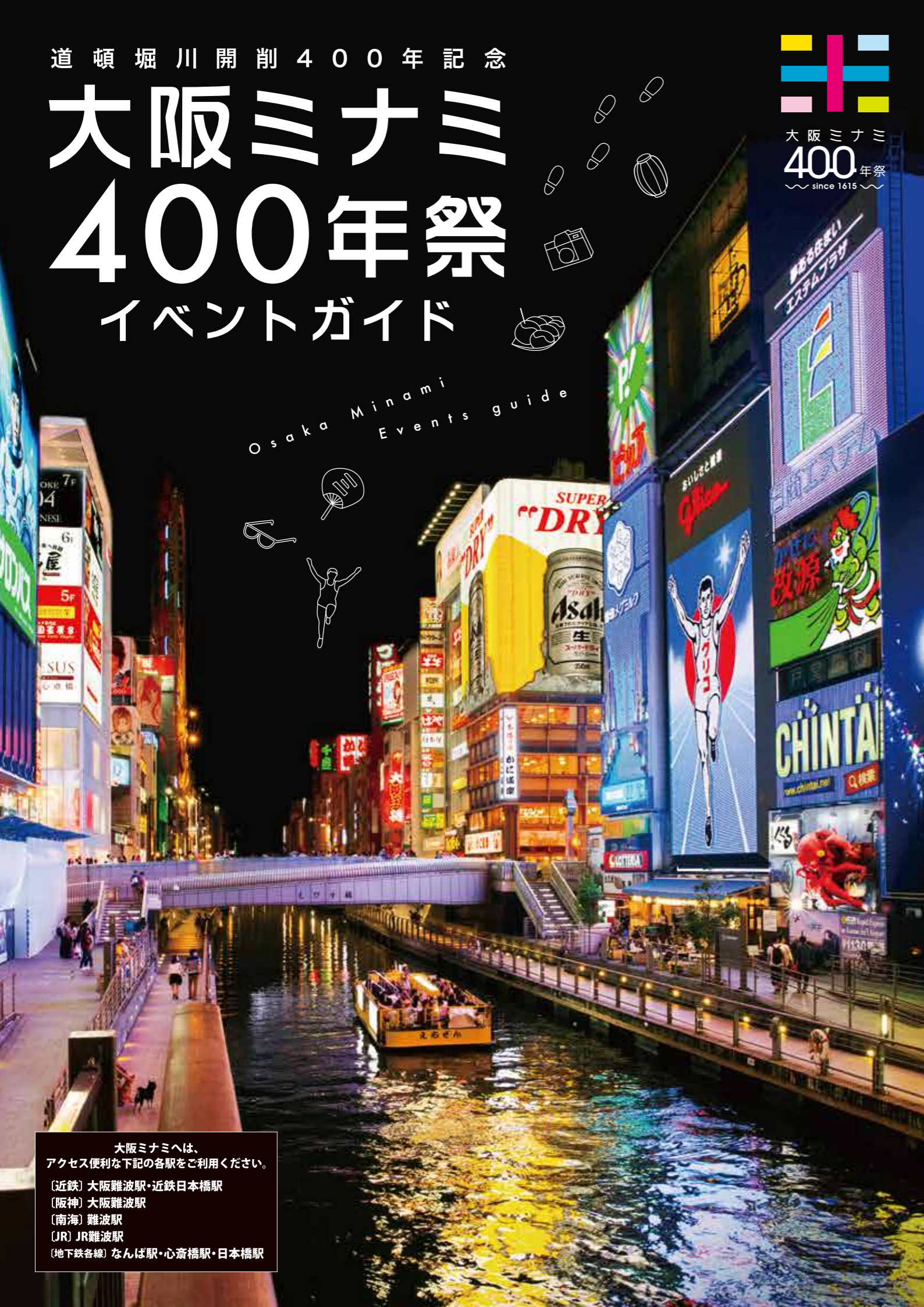


道頓堀川開削400年記念

大阪ミナミ 400年祭

イベントガイド

Osaka Minami
Events guide



400年祭の最新情報は
こちらから!



大阪中心

検索

<http://osaka-chushin.jp/minami400/>

大阪ミナミへは、
アクセス便利な下記の各駅をご利用ください。

〔近鉄〕大阪難波駅・近鉄日本橋駅

〔阪神〕大阪難波駅

〔南海〕難波駅

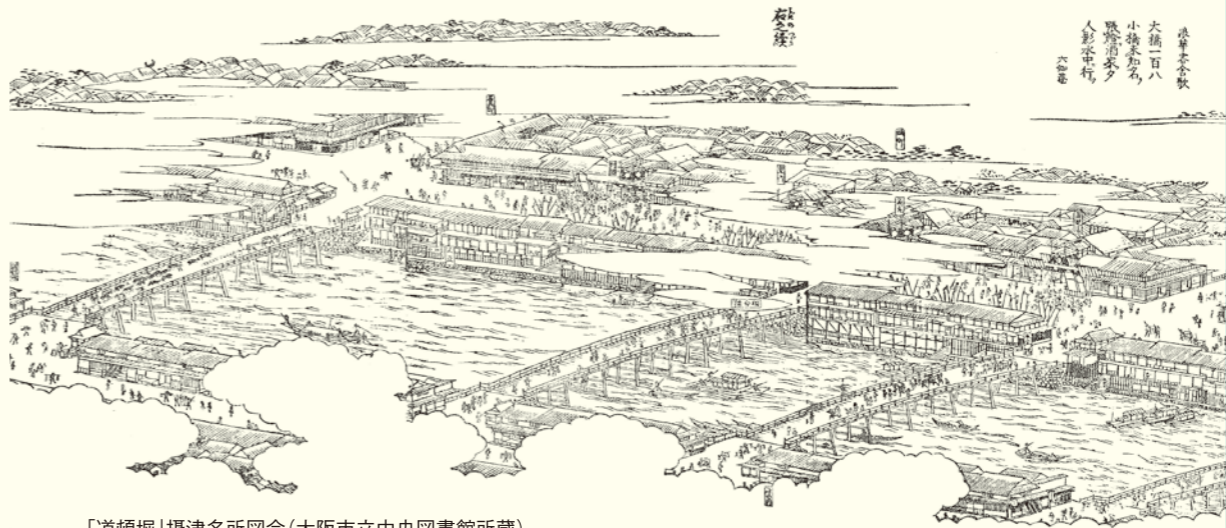
〔JR〕JR難波駅

〔地下鉄各線〕なんば駅・心斎橋駅・日本橋駅

祝・道頓堀川400歳！

ミナミのあゆみを探訪

今や世界に名だたる名所となった「道頓堀川」は、1615年にできた運河です。そして、道頓堀川の周囲に400年かけてきた繁華街がミナミです。その規模は世界屈指と言われます。今日はみなさんを、大阪ミナミ400年の旅にお連れしまひよ。



〔道頓堀〕撰津名所図会(大阪市立中央図書館所蔵)

道頓さん達が掘った道頓堀川

太閤さんの時代、大坂のにぎわいの中心は、上町台地のこく限られた場所でした。その一角船場の南側に広がる田畑の中に、1612年、大坂の商人・成安道頓、安井九兵衛、平野藤次、安井治兵衛の4名は、大坂城の外堀・東横堀川と西の木津川を結ぶ運河を掘り始めます。ところが、途中で大坂の陣が起り工事は中止。道頓は豊臣方について籠城の末、戦死してしまいました。

大坂城主に就いた徳川家康の外孫・松平忠明は、1615年9月19日、大坂の陣で徳川方についた平野藤次、安井九兵衛に工事の再開を命じ、ほどなく完成。大坂の南にある堀ということで、初めは「南堀」と呼ばれていました。道頓の功績をたたえて「道頓堀」と呼ぶことになりました。

ところで、いつ頃から「ミナミ」と呼ばれるようになったんです。江戸時代から、という説もあります。船場の南の方やったから「南地(なんち)」と書き、「ミナミ」とルビをふつたらしいです。

近松門左衛門もミナミで活躍

道頓堀川の両側ではさっそく開発が進められ、8つの町ができました。このうち、戎橋の南側にある現T S U T A Y A 戎橋店の並び

宗右衛門町をはじめ花街の発展

芝居街の周辺には、遊びのまち花街(かがい)が発展します。川の北側には宗右衛門町が、南側には九郎衛門町と櫓町が、さらにその南側には坂町、難波新地が開発されました。最盛期の昭和初めにはミナミに芸妓2800名が在籍してましたから、京都・祇園をしのぐ華やきであつたでしょう。宗右衛門町は中でも格式が高く、お茶屋から後に高級料亭となった「大和屋」では、下足番が立ち、能舞台が置かれました。お茶屋や料亭からの厳しい注文によって鍛えられた菓匠「福壽堂秀信」の上生菓子の繊細で華やかな様子は、お茶屋文化の粋(すい)と伝統を感じることができます。



〔大阪宗右衛門町の夕〕川瀬巴水画(個人蔵)

グルメな法善寺横丁はお寺の中？

芝居街の南側には、1637年に法善寺が移転してきました。隣の竹林寺とともに千日詣に参る人でにぎわい、付近は「千日前」と呼ばれるようになりました。境内の露店が戦前にはお店として定着していき、作家の織田作之助は大衆的で美味しいお店をこよなく愛し小説『夫婦善哉』に描きます。ほぼ同時に作家の長谷川幸延が「法善寺横丁」を発表して、昭和の初めに全国区へ。今では、浪花割烹を味わえるお店や、ミシュランで星を獲得したお店も並び、大阪、いや日本を代表する



法善寺横丁

心斎橋はどこに架かる橋？

道頓堀川が完成した翌年からは「長堀川」(現長堀通り)の開削工事が始まり1622年に完成、あわせて心斎橋も架けられました。この事業を幕府から命ぜられたのが、心斎橋の名前の由来にもなった岡田新三(のちの美濃屋心斎)。道頓堀川と長堀川の間は街化が進み、島之内と呼ばれ、心斎橋筋もにぎわいます。大丸百貨店の前身である呉服店「松屋」は1726年に心斎橋筋に出店します。「大塩平八郎の乱」が起きた時、「大丸は義商なり、犯すなかれ」と命じたため、焼き打ちを免れたという逸話が残っています。

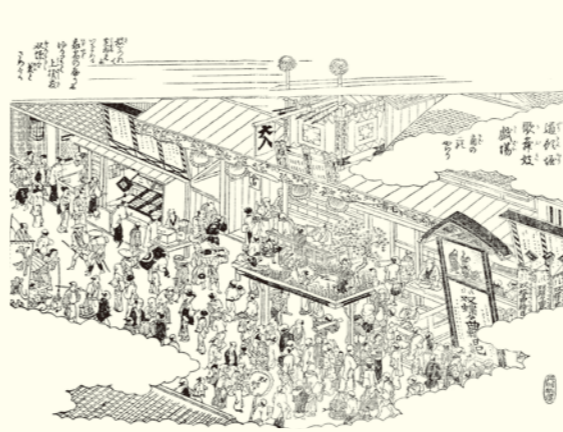
明治時代に入つて文明開化とともに「東の言葉が流行します。初代大阪市長を務めた田村太兵衛は、心斎橋筋で呉服店「丸亀屋」を営む商人でしたが、店をたかしまや飯田新七呉服店(現高島屋・当時は心斎橋筋で営業)に売却して市長選に立候補、住友吉左衛門を抑えて当選を果たしました。長堀川は1964年(昭和39年)に埋め立て

は、アメリカで言うたらブロードウェイのような一大芝居町として発展しました。最盛期には幕府から営業が許された印である「櫓(やくら)」を正面に掲げた、大きな座(劇場)が5つ並んでましたんや。

そのひとつ「竹本座(後の浪花座・現フォアバー121大阪道頓堀店)」は、1684年に竹本義太夫が旗揚げし、売れっ子劇作家「近松門左衛門」を迎え人形芝居を演じました。近松は、1703年に名作『曾根崎心中』を上演、実際に起きた心中事件を扱ったこの作品は空前の大ヒットとなり、歌舞伎でも上演されるようになりました。大阪の人形浄瑠璃が道頓堀で花開きましたんや。

あの舞台装置もミナミで発明

「角の芝居(後の角座)」では、芝居をより楽しんでもらうために、場面転換などに使う「回り舞台や「せり」を歌舞伎の狂言作者の初代・並木正三が生み出し、現在も世界中の舞台で使われています。角の芝居を立ち上げた大坂太左衛門の名前は、今も道頓堀川に架かる橋の名として残っています。また、江戸時代の観光ガイドブックに芝居街道頓堀が紹介されており、幕末の頃に蘭学者・シーボルトが九州から訪れてこちらで観劇しています。これらの劇場は閉館してしまいましたが、



〔角芝居〕撰津名所図会(大阪市立中央図書館所蔵)

られ、地下にはクリスタル長堀ができました。石造の心斎橋の一部は現地で復元されています。



心斎橋(着彩写真)(個人蔵)

心斎橋筋の南側には戎橋筋が

完成して間もなく道頓堀川に「戎橋」が架かりました。商人は大喜びで、この橋を渡り戎橋筋を通つて今宮戎神社の十日戎にお参りしました。この道沿いに開発された街が難波新地です。見世物小屋や勧進相撲を誘致したり、夕涼みの名所として衆目を集めながら、幕末にかけて現在の南海難波駅手前までが徐々に市街化されていきました。

明治期、日本初がミナミでいっぱい

1885年(明治18年)、日本で初めて純民間資本による鉄道会社が設立されました。松本重太郎、藤田伝三郎といった財界人らが資本を集め立ち上げた大阪堺間鉄道会社

(現南海電鉄)が、1885年、難波(大和川間)を結びます。難波駅が誕生し、鉄道ターミナル時代幕開けとなりました。

難波駅に向かいにあった「南地演舞場」で1897年(明治30年)、大阪の実業家 稲畑勝太郎がフランスから持ち帰った映写機を使って日本で初めて映画興行が行われました。演舞場の跡地に「南街会館」を建てた阪急東宝グループの創業者・小林一三氏がその史実をしたためた銘板が、現T O H O シネマズ なんば 1階に掲示されています。その後、映画興行はミナミの娯楽の王者となり、千日前には数多くの映画館が建ち並びました。大阪初の映画製作会社「三有倶楽部」も千日前で誕生、「映画興行発祥の地」記念碑も建てられています。



大正期の難波駅(個人蔵)



映画興行発祥の地レリーフ

食い倒れの街を支える「二つの商店街

「黒門市場」が生まれたのは江戸時代末頃。堺筋に「圓明寺」というお寺があり黒い山門あたりで、堺から来た魚売りの商人が集まって商売していたことが起源とされています。鮮魚を中心に食い倒れの街・大阪を支える小売・卸売市場に発展、食通の胃袋を満た

ただけやなく、外国人の人気観光スポットとしても注目を集めています。

「千日前道具屋筋商店街」です。明治の初め、四天王寺のお大師さんや今宮戎神社に参る道筋に古道具屋や雑貨商が軒を連ねたのが始まりです。昭和の初めには、飲食店開業に必要なものでもそろそろ専門店街へと変化していきます。今では、主婦や旅行者も料理人が使う道具や食器を気軽に購入できるスポットとしてにぎわっています。近年は、道具屋筋の周辺地域に自然発生的に個性派飲食店が集まり出し「ウラなんば」と呼ばれ、新たなグルメスポットとなっています。

大正時代の到来、ミナミの急成長

さて、話は道頓堀に戻ります。1923年（大正12年）、「大阪松竹座」開場と同時に、OSK日本歌劇団（当時は松竹楽劇部）がここで初舞台を踏みます。当時は「歌の宝塚、ダンスのOSK」と称されました。大阪の春を告げる風物詩「春のおどり」は1926年（大正15年）に初公演され、現在に続いています。後に活動の拠点を千日前にあったミナミ最大の劇場「大阪劇場」（現在のなんばオリエンタルホテルの場所）に移し、人気を博しました。1925年、大阪市は第二次市域拡張を行いました。人口と面積で、東京市を抜き、全国でナンバーワン、世界6番目の大都市になりました。「大正時代」と呼ばれた大阪のゴールデンエイジの幕開けです。道頓堀は最先端文化の発信基地となりました。日本の興行ジャズが発祥し「道頓堀ジャズ」と呼ばれました。カフェやダンスホールではジャズの生演奏が響き、高島屋やうなぎの出雲屋が

なんばエリアが南へと拡大

南海難波駅では駅舎の改造と一体に1978年（昭和53年）「なんばCITY」が開業します。ロケット広場（現なんばガレリア）が新たな待ち合わせの名所となり、なんばエリアは南へと拡大します。その10年後、南海ホークスはダイエーに売却となり、「大阪球場」跡地は、2003年（平成15年）、複合施設「なんばパークス」に生まれ変わり、巨大な屋上緑化で話題をさらいました。大阪球場のホームベースとピッチャーマウンドがあった場所にメモリアルプレートが設置されています。

日本橋は、戦前は古本屋さんの街でしたが、戦後は電器の街「でんでんタウン」として栄え、家電店の撤退後はアニメ、ゲーム、フィギュア、コスプレ衣装、同人誌などのサブカルチャーの街へと姿を変えました。今年で11回目を迎えた「日本橋ストリートフェスタ」には8000人を超えるコスプレイヤーが集結し、25万人の人が来場しました。

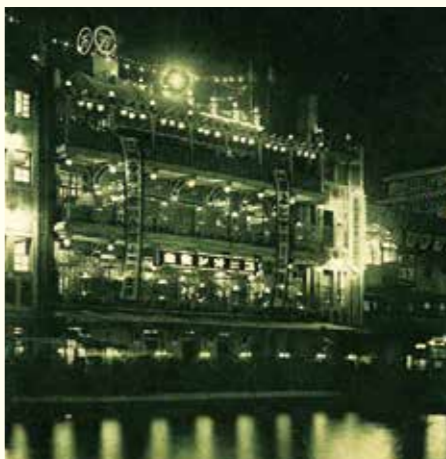
400年の歴史が織り成すミナミの魅力

ミナミの400年のあゆみをほんの触りだけご紹介しました。みなさんにも、ミナミでの思い出がたくさんあると思います。道頓堀川開削400年をきっかけに、ぜひ思い出起こしてみてください。

ミナミの街は、大小のお店が軒を連ねる商店街や路地横丁が無数につながっています。そんなミナミに魅力を感じて、最近では、ぎょうさんの外国人観光客も食事や買い物、まち巡りを楽しみに訪れます。おもてなしのため、無料WiFiをつなげ、外国語対応に取り組んでいます。

少年音楽隊を結成。彼らうら若き少年たちの中に、後に日本を代表する音楽家・服部良一の姿もありました。

現在、JAZZの街・ミナミの歴史を残そうと、道頓堀川を船で巡りながらの生演奏を楽しむ「とんぼりジャズボート」が定期運航。秋には「ミナミジャズウォーク」も開催されています。



ユニオン食堂夜景(個人蔵)

「大阪」の政策を推し進めたのは、第七代大阪市長 関一です。そのシンボルが地下鉄と御堂筋の建設でした。1933年に現在の地下鉄御堂筋線の心齋橋〜梅田間が開通。1932年（昭和7年）、御堂筋の南のつぎあたりに南海ビル（難波駅）が完成します。高島屋が本店し（一部開業は昭和5年）、日本初の冷房装置を備えた百貨店として話題を集めました。南海ビルは4年前に当初の外観を残していることが評価され、国の有形文化財に登録されました。

地下鉄がなんば駅まで延伸された1935年（昭和10年）には、大阪を代表する人気写真スポット「グリコネオン」がお目見え、昨年には6代目となる道頓堀グリコサインに新調されました。

また、地域を挙げてパトロールを行うなど、安心安全な環境づくりに取り組んでいます。大阪市に客引きの適正化に関する条例も制定いただきました。そして、新たな400年をめざして、人のまち、歩いて楽しいミナミを世界にアピールしようと、次なる一手を準備しています。

人々を惹きつけてやまない街・ミナミ。次に来てくれはるときには、400年の歴史とミナミの未来に思いをはせながら歩いてみてください！



南海難波駅前広場の歩行者空間化イメージ(なんば安全安心にぎわいのまちづくり協議会提供)



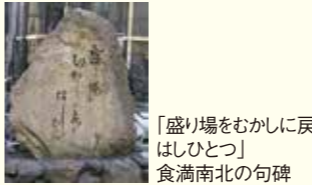
1933年(昭和8年頃)難波周辺の航空写真(高島屋所蔵)

戦後の復興から高度経済成長へ

戦争が始まると、ミナミでは、花街などは次々と閉鎖され、1945年3月13日の夜から14日にかけての大空襲によって、見るも無残な焼け野原になりました。道頓堀では太左衛門橋、相合橋の二橋が焼け落ちました。戦後、橋の再建を祝って、「盛り場をむかしに戻す橋ひとつ」の句碑が建てられました。また、大阪市民の寄付により「平和の女神像」が大丸心齋橋店前に建てられ、現在は難波駅前広場に移設されています。



「相合橋」大阪大空襲被害状況写真(大阪市史編纂所所蔵)



「盛り場をむかしに戻すはしひとつ」食満南北の句碑

終戦からの立ち直りは早く、高度経済成長とともにミナミは繁栄、拡大を続けます。1957年（昭和32年）には日本初の地下街「ナンバ地下センター」（現・NAMBAなんなん）が開業。1959年（昭和34年）にはプロ野球チーム「南海ホークス」が日本一を獲得。涙の御堂筋パレードが行われ、約20万の市民が集まりました。



ナンバ一番(国華実業所蔵)

昭和42年頃に巻き起こったグループ・サウズブームのミナミのメッカが「ナンバ一番」。内田裕也さんや沢田研二さんにファンは熱狂しました。

大阪万博が開催された1970年（昭和45年）、御堂筋が一方通行となり、近鉄難波駅（現・大阪難波駅）が開業、翌年地下街「虹のまち」（現なんばウォーク）がオープンしました。同じ頃、御堂筋の西側で新しい動きも起こります。ミナミの若手経営者がアメリカ西海岸から持ち帰ったサーフィンボードや古着、中古レコードのガレージセールを始め、いつしかアメリカ村と呼ばれ、若者文化の発信地となりました。



アメリカ村のシンボル壁画「ピース・オン・アース」(黒田征太郎画)

ミナミの400年

- 【江戸時代 1615〜1868】
 - 1615 道頓堀川完成、その後、戎橋架橋
 - 1622 長堀川完成、その後、心齋橋架橋
 - 1637 法善寺建立、千日詣にぎわう
 - 1653 幕府が道頓堀の芝居小屋5つに興業許可
 - 1684 竹本義太夫、竹本座で人形芝居を始める
 - 1703 近松門左衛門による「曾根崎心中」上演
 - 1726 呉服店「松屋」開業（現・大丸心齋橋店）
 - 1822、23 魚売りが集まり黒門市場が生まれる
 - 【明治時代 1868〜1912】
 - 1882 古道具屋が並び道具屋筋が生まれる
 - 1885 阪堺鉄道難波駅開業（現・南海電車）
 - 1897 南地演舞場で日本最初の映画興行が上映
 - 1898 高島屋心齋橋店開業
 - 1912 南の大火
 - 【大正時代 1912〜1926】
 - 1915 千日前通敷設
 - 1922 大丸心齋橋店開業
 - 1923 大阪松竹座開場、道頓堀でカフェブーム
 - 1925 本格的ジャズバンドが結成、ジャズの都へ
 - 【昭和時代 1926〜1989】
 - 1929 道頓堀行進曲が大坂松竹座で上演
 - 1932 高島屋大阪南海店全館開業（日本初冷房装備）
 - 1935 初代グリコネオン完成
 - 1935 地下鉄御堂筋線（心齋橋〜難波間）開通
 - 1937 御堂筋が難波まで完成
 - 1945 大阪大空襲
 - 1950 大阪球場開場
 - 1957 日本最初の地下街「ナンバ」地下センター（現NAMBAなんなん）開業
 - 1959 南海ホークスが優勝、涙の御堂筋パレード
 - 1964 長堀川埋め立て
 - 1966 今宮戎神社、宝恵駕籠行列復活
 - 1970 御堂筋線一方通行・近鉄難波駅開業
 - 1971 虹のまち（現・なんばウォーク）開業
 - 1978 なんばCITY開業
 - 1979 道頓堀川で上方歌舞伎の船乗り込み復活
 - 1984 国立文楽劇場開館
 - 1987 なんばグランド花月開業
 - 【平成時代 1989〜現在】
 - 2001 難波八阪神社「船渡御」230年ぶりに復活
 - 2002 法善寺横丁火災から復興
 - 2003 なんばパークス開業
 - 2009 阪神なんば線開業
 - 2012 Zep Namba OSAKA開業
 - 2013 宗右衛門町通石畳の道復活
 - 2014 道頓堀角座開業
 - 2015 6代目グリコネオン登場
- 道頓堀川開削400周年を迎える



明治初期の道頓堀川と戎橋(鉄橋)(長崎大学附属図書館所蔵)

イベント名	7月	8月	9月	10月	11月以降
道頓堀川万灯祭2015	7/1~8/31				
大阪ミナミ400年祭・本祭&にぎわいスクエア	● 7/11・12				
道頓堀自転車マナーアップキャンペーン	7/8~12				
水都大阪2015オープニングイベント		● 8/1			
道頓堀盆おどり インターナショナル2015		● 8/16			
特別企画展 初世 中村鴈治郎	講座 7/25	講座 8/8	7/1~8/23		
水都大阪ミナミフェスティバル					● 11/7
ミナミべっぴんプロジェクト				10/31 ●	
まいどおおきに! 大阪ミナミ光マッセ				11月~2月(予定)	
今宮戎神社十日戎・宝恵駕行列					1/9 ●
ミナミ学生祭・夏の陣	● 7/11・12				
第2回 NAMBA発 ココロ、オドル		7/29~8/3			
上方文化再生フォーラム		● 7/31	● 8/15	● 9/6	● 10/26 ● 12/12 ● 3/6
道頓堀たこ祭		● 8/8			
第5回ミナミ学生ジャズカーニバル		● 8/13			
第4回「関西しゃべくり話芸大賞」			● 予選 9/12	● 決勝大会 10/17	
WAON presents OSAKA キッズダンス・スマイルフェスティバル2015			● 9/26		
第6回よさこい大阪大会			● 9/27		
ミナミジャズウォーク					● 11月上旬(予定)
ミナミ学生祭・冬の陣					● 12月
夏の福笹・縁起物イルミネーション	7/1~8/18				
法善寺水掛不動尊表参道祭り	● 7/11				
第21回宗右衛門町夏祭り		● 7/22・23			
法善寺横丁まつり		● 8/10・11			
千日前商店街みやみん夏祭り		● 8/15・16			
なんばおにごっこ			● 9/26		
宗右衛門町「石畳」バルふたたび				● 11/3	
戎橋筋商店街/大阪ミナミ体験博2015				10/9~18	
第30回道具屋筋まつり				10/10・11	
黒門秋の味覚市				10/10・11	
難波大社 生國魂神社いくたま夏祭	● 7/11・12				
難波八阪神社夏祭り 船渡御	● 7/13				
難波八阪神社夏祭り 陸渡御	● 7/14				
御津宮(御津八幡宮)夏祭	● 7/14・15				
浪速・高津宮 大祭(夏祭り)	● 7/17・18				
難波神社 氷室祭	● 7/20・21				
第38回今宮戎こどもえびす	● 7/22・23				
どんどこ船や文楽船、落語船	● 7/24・25				
地藏盆千日供養・護摩法要		● 8/24			
出世地藏尊 地藏盆		● 8/24・25			

大阪ミナミ400年祭連携イベント

文化・芸能・音楽・食のお祭り

商店街のお祭り

神社・お寺のお祭り

大阪ミナミ 400年祭がいよいよ開幕!!

賑やかで、面白くて、中身勝負で、人情たっぷり、ひとりでいえば「濃い!」そんなバラエティに富んだエリアが密集するミナミのまちは、入場無料のテーマパーク。道頓堀川の誕生から400年の月日を重ねて、世界的規模の繁華街に成長しましたが、その原点は、地縁を大切にしてきたエリアごとの個性と、商人や町人らの心意気にあります。昔ながらのお祭りとして新しいイベントが一体となって未来につなげていくミナミをあげてのフェス。それが「大阪ミナミ400年祭」。

400年記念ロゴ入りの地ビールも登場!

みんなのパワーを結集するロゴマークは89点の応募の中から選ばれた、クリオカイチロウさん(大阪市中央区勤務、デザイナー)の作品。活気ある道筋の濃いピンクと水都の青その周囲に多彩なエリアや建物が広がる街の姿を表し、また独立国家とみだてて旗にも使え、よく見ると「ミナミ」という文字をかたどっています。

このマークを活用して盛り上げようと、キリンビールマーケティング株式会社が、キリン一番搾り大阪ミナミ400年祭デザイン瓶を発売。また、道頓堀麦酒醸造株式会社が400年記念ラベルを貼った道頓堀地ビールも発売決定。



嘉門達夫さんがミナミの応援ソングを熱唱!

さらに、お祭りの盛り上げに一役買ったのは2つのオリジナル応援歌。嘉門達夫さん作詞作曲による「レッツゴーミナミ」はミナミ好きの大人たちにしっくりくる珠玉の仕上がりに。一方、もず唱平さん作詞、中村泰士さん作曲による「道頓さん」は、ちょっと懐かしめの昭和歌謡テ

イスト。オーディションで選ばれたミナミ発の女性ユニット「大阪☆歌謡女子団」が水上ステージで歌い上げます。



川から眺める道頓堀は、観光客に大人気。地元関西人が未体験なってもつたいない。落語家と水の回廊を一周できるクルーズや道頓堀川のジャズボートをはじめ人気の4クルーズの乗船チケットと飲食店舗の特典クーポンをセットにした「道頓堀あきんどパス」を400年にちなんで4000円でお得に販売中! このチャンスにぜひ! (大阪シティクルーズ推進協議会/0664410532(一本松海運))



ギネス世界一を目指す道頓堀盆おどりに参加しよう。

大阪ミナミ400年祭参加イベントをいくつかご紹介しましょう。「大阪ミナミ400年祭・本祭」は、実行委員会がプロデュースするキックオフイベント。大阪市中央区の催し「にぎわいスクエア」と共催で盛り上げます。



千日前商店街みやみん夏祭り

この夏、ゆかたで遊ぼう! ゆかたで歩こう!

ミナミを神域とする神社のお祭りも、その奉納のバリエーションはさまざま。道頓堀川を勇壮にわたる船渡御をはじめ、演芸や文楽の奉納があったり、ミナミらしいサプライズな演出もあちこちに。ぜひ、ゆかた姿でお出かけください。



難波八阪神社夏祭り 船渡御



文化・芸能・音楽・食のお祭り



10代のチカラが最終！ ミナミ学生祭・夏の陣

7月11日(土) 13:00~12日(日) 17:30~
道頓堀川・水上ステージ

大阪ミナミ400年祭・本祭 & にぎわいスクエアの水上ステージを盛り上げよう！ミナミ学生祭が参陣。高校生による和太鼓、軽音楽やポップスの演奏、大学生のサークルによるライブ・パフォーマンスを披露。



一昨年末のミナミ学生祭

ミナミの粋な文化を知らう 上方文化再生フォーラム

7月31日(金)・8月15日(土)・9月6日(日)・10月26日(月)・12月12日(土)・
2016年3月6日(日) TORII HALL

上方文化が発祥した大阪ミナミの文化力を再生、持続させることを目的に、大阪の「財・官・民」が連携、ミナミの「粋」をもっと知る講座を開催。ゲストを交え、「上方学」をさまざまな角度から取り上げます。年6回開講。



ジャズゆかりのミナミから 第5回ミナミ学生ジャズカーニバル

8月13日(木) 14:00~18:00
スイスホテル南海大阪8階

ジャズバンドが日本で初めてプロとして演奏したミナミで、中高生ジャズビッグバンドによる演奏会を開催、今年は東北からも参加校を招へい音楽の絆と若者の元気を発信します。プロや大阪芸術大学の学生なども共演するほか、400年にちなみミナミらしい楽曲も。



昨年の様子

WAON presents OSAKA キッズダンス・スマイルフェスティバル2015

9月26日(土) 11:00~17:00(予定)
難波宮跡公園

幼稚園、小学生を中心としたキッズのダンスフェスティバル。特別審査員にTAKAHIRO(上野隆博)氏を迎え、今年も子どもたちがダンスで難波宮からミナミの街を盛り上げます。



主催：大阪ミナミ活性化事業2015実行委員会
OSAKAキッズダンス・スマイルフェスティバル2015実行委員会
☎ 06-6633-6852

ジャズの街をもういちど ミナミジャズウォーク

11月上旬(予定)

ジャズとダンスに熱狂した大正末~昭和にかけて道頓堀、千日前のカフェーでは日本で初めてのジャズバンドが演奏。そのジャズ発祥のまち・ミナミで2000年から毎秋実施、ミナミの色んな場所でジャズを楽しめる一日をお楽しみください。



主催：ミナミジャズウォーク実行委員会
☎ 06-6946-7761

踊る、百貨店。 第2回 NAMBA発 ココロ、オドル

7月29日(水)~8月3日(月)
大阪タカシマヤ 7階グランドホール

キッズダンス、MAHARAJA OSAKAのダンスショー、フラメンコ、フラダンスなど、約13のチームが様々なダンスを繰り広げる6日間！お見逃しなく！

主催：大阪タカシマヤ
☎ 06-6631-1101



粉もんプリンセス考案のたこ焼きと対決！！ 道頓堀たこ祭

8月8日(土) 15:00~20:00
とんぼりリバーウォーク

日本コナモン協会初代コナモンプリンセスに就任したカリスマモデルの三戸なつめさん考案の「粉ブリたこ焼」と道たこ連の「ドリームたこ焼」(ドリたこ)の対決イベントを実施！皆さんの投票で勝敗が決まります！

主催：道頓堀たこ焼連合会(道たこ連)
※日本コナモン協会主宰
☎ 06-4392-8488



100組超えの話芸バトル 第4回「関西しゃべくり話芸大賞」

予選：9月12日(土) 道頓堀ZAZA
決勝大会：10月17日(土) YES THEATER

「百年たっても面白い！」関西のしゃべくり話芸の魅力全開！ベテランから新人まで100組以上の芸人がトーナメント戦で優勝を目指す話芸バトル。今年で4回目となる、関西のしゃべくり王はどの組に？

主催：NPO法人関西演芸推進協議会
☎ 06-6633-1430



難波宮が熱くなる！ 第6回よさこい大阪大会

9月27日(日) 10:00~17:00(予定)
難波宮跡公園 大阪城天守閣前広場

今年で6回目となる、よさこい踊りの祭典。各地からよさこいチームが大集結！ラストに行われる総踊りでは、観客の皆さんにも、ご参加頂き、会場全体が一つになって盛り上がる、圧巻のステージをお見せします。

主催：大阪ミナミ活性化事業2015実行委員会
よさこい大阪大会実行委員会
☎ 06-6633-6852



学生×街コラボ ミナミ学生祭・冬の陣

12月 とんぼりリバーウォーク

ミナミの街を盛り上げたい学生たちが集う実行委員会とまちが協力、ステージでは音楽やステージパフォーマンス、大阪ミナミ光マッセともコラボしペットボトルツリーの点灯式などを予定。

主催：ミナミ学生祭実行委員会



昨年の様子



大阪ミナミ400年祭連携イベント



なにわ情緒を盛り上げる1,300の提灯 道頓堀川万灯祭2015

7月1日(水)~8月31日(月) 19:00~26:00
とんぼりリバーウォーク(深見橋~日本橋)

道頓堀川のリバーウォーク約800メートルに約1,300個の提灯がともる、なにわ情緒たっぷりの万灯祭。すべての提灯は、なにわの商人や企業、市民からの献灯による、おもてなしの灯り。点灯時の夕間暮れは特にオススメ。四ツ橋筋から堺筋まで散歩をお楽しみください。

主催：いっここミナミ実行委員会
☎ 06-6211-4542



道頓堀自転車 マナーアップキャンペーン

7月8日(水)~12日(日)
道頓堀(戎橋南東付近)

TSUTAYA戎橋とカニ道楽の間の道頓堀に、ひと休みできる期間限定のスタンディングテーブルが設置され、駐輪場利用や自転車の押し歩きを呼びかける自転車マナー向上の啓発キャンペーンが実施されます。

主催：大阪ミナミ400年祭実行委員会
共催：ミナミまち育てネットワーク
☎ 06-6646-1085



イメージ

ギネス世界記録を一緒につくろう！ 道頓堀盆おどりインターナショナル2015

8月16日(日) 17:00~21:00
とんぼりリバーウォーク

日本を代表するライブ・エンターテインメントの街「道頓堀」が世界最大規模の盆おどりでギネス世界記録に挑戦！船上ステージで音頭とりが謡い、とんぼりリバーウォーク両岸で3,000人の踊り手が舞う。その歴史的瞬間に参加してみませんか！

主催：道頓堀商店会
☎ 06-6211-4542



水上エンターテインメント 水都大阪ミナミフェスティバル

11月7日(土) 道頓堀川(戎橋周辺)

2015年シンボルイヤーを機に“水の都大阪”の魅力をミナミからも発信！お笑い、音楽、舞台、ダンスなどの水上エンターテインメント「水都大阪ミナミフェスティバル」と様々な催しを船上で展開する「道頓堀リバーパレード」とコラボレーション！お楽しみください。

窓口：よしもとクリエイティブ・エージェンシー
☎ 06-6643-1122



大阪ミナミ400年祭・ 本祭&にぎわいスクエア

7月11日(土)・12日(日) 11:00~20:00
とんぼりリバーウォーク

道頓堀川沿いに大納涼床が登場。1,300灯の提灯の下、ミストシャワーで涼をとりながら、ミナミの名店の味と400年祭スペシャルビールをお楽しみいただけます。特設水上ステージではダンスや音楽などのライブも開催。水都大阪の風情をミナミでお楽しみください。

主催：大阪ミナミ400年祭実行委員会・大阪市中央区役所共催
☎ 06-6211-4542



水都大阪2015オープニングイベント

8月1日(土) 16:30~20:00(予定)

2015年は大阪のシンボルイヤー。道頓堀開削400周年の大阪の節目の年。このシンボルイヤーを水辺から盛り上げる“水都大阪2015”が始まります。オープニングセレモニーに、水上での音楽ライブやダンス、世界的にも有名なチームによるダブルダッチ、フリースタイルフットボールやBMXの船上パフォーマンスなど道頓堀川初のスペシャルステージを展開致します。お楽しみください！

窓口：よしもとクリエイティブ・エージェンシー
☎ 06-6643-1122



イメージ写真

道頓堀四百年記念 特別企画展 初世中村鴈治郎上方歌舞伎の巨星ー 《関連展示 道頓堀川開削400年》

7月1日(水)~8月23日(日) ※関連展示は8月24日(月)まで
大阪歴史博物館 火曜日休館 大人600円・学生400円

講座①7月25日(土)道頓堀の開発(10:00~11:30)
②8月8日(土)道頓堀の謎(当日先着順・各200円)

明治から昭和初期の上方歌舞伎のスター・初世中村鴈治郎にちなむ舞台衣装・錦絵他の展示と、近年発見された「道頓堀川大絵図」(明暦元年<1655>)や所蔵資料展示による道頓堀川開削と一帯の開発の紹介。

主催：大阪歴史博物館 ☎ 06-6946-5278



みんなできっせい大掃除！ ミナミべっぴんプロジェクト

10月31日(土) 9:45~12:00(予定)
御堂筋・道頓堀・千日前周辺

ミナミエリア一帯を、一般市民、学生、地域のみなさんと大掃除するビッグプロジェクト。世界中から沢山の方が訪れるミナミの街をキレイにしましょう。ミナミの文化・集客・街づくりに取り組む、ミナミまち育てネットワーク主催。

主催：ミナミまち育てネットワーク
☎ 06-6646-1085



昨年の様子

ロマンティックイルミにうっとり まいどおおきに！大阪ミナミ光マッセ

2015年11月~2016年2月(予定)
ミナミエリア一体

大阪の一大イベント「大阪・光の饗宴」のミナミでのエリアプログラム。ミナミのあちこちで輝くイルミネーションをめぐりながら、街を楽しめるイベントを現在企画中。

主催：Mプロジェクト実行委員会
☎ 06-6641-3362



昨年の様子

福をよぶ新春名物 今宮戎神社十日戎・宝恵駕行列

2016年1月9日(土)
往路：宗右衛門町→大阪ミナミ各地→今宮戎神社
復路：今宮戎神社→大阪ミナミ各地→戎橋

今宮戎神社の十日戎に合わせて、ミナミ各地の商店街や企業が繰り出す「宝恵駕」に有名人等が乗り込み500名の大行列となって今宮戎神社へと参詣するミナミの一大行事。夜にも道頓堀近隣の商店街の駕籠が艶やかに宗右衛門町と道頓堀を練り歩きます。

主催：今宮戎神社・宝恵駕実行委員会
☎ 06-6214-5925



神社・お寺のお祭り

1,000軒の屋台が出る！ 難波大社 生國魂神社 いくたま夏祭

7月11日(土)・12日(日)
生國魂神社
大阪三大夏祭りのさきがけ。明治期から続く旧神域の大阪城へのお渡りが行われる他、クライマックスの枕太鼓の勇壮な御練は必見。参道を埋め尽くす1,000軒の露店が楽しめ、境内だけでも20万人の人出で賑わいます。
主催：生國魂神社祭典本部
☎ 06-6771-0002



20艘もの船が道頓堀に！ 難波八阪神社夏祭り 船渡御

7月13日(月) 18:00~21:00(予定) 道頓堀川
神事船や氏子船、どんどこ船など20艘が道頓堀川を行き交う、勇壮で風情ある水都のお祭り。江戸時代は天神祭と並び称され2001年に230年ぶりに復活、クライマックスは、午後7時前から9時(予定)頃、戎橋~日本橋間で間近に楽しめます。
主催：難波八阪神社船渡御保存会
☎ 06-6641-1149



神輿や獅子舞が練り歩く 難波八阪神社夏祭り 陸渡御

7月14日(火)
難波八阪神社境内及び氏子地域
神輿を中心に太鼓、獅子舞が巡行、地域のこどもたちも大行列に参加、氏子地域である千日前~道頓堀~戎橋筋、塩草・稲荷・立葉・堀江周辺を渡御します。境内では獅子舞・諸々の演芸・餅まきなど神事や奉納の催しが行われます。
主催：難波八阪神社 ☎ 06-6641-1149



アメ村×島之内八幡(はちまん)さん 御津宮(御津八幡宮)夏祭

7月14日(火)・15日(水)
御津八幡宮境内及び氏子地域
アメリカ村の中にある、島之内西側一体の氏神・御津八幡宮の夏祭り。かつての賑わいを取り戻そうと、心齋橋筋商店街やアメリカ村周辺のお店が協力して、神輿の渡御を行い、境内では地元青年部による夜店で賑わっています。
主催：御津八幡宮
☎ 06-6211-8655



演芸や落語の奉納も！ 浪速・高津宮 大祭(夏祭り)

7月17日(金) 15:00~21:00 宵宮
7月18日(土) 10:00~21:00 本宮
高津宮境内
邪気をはらう獅子頭のついた笹の授与や、神賑わいとしての神輿が渡御され、多彩な演芸奉納、落語会(有料)や小学生絵画の展示、龍おどりなどが行われます。境内地周辺には多くの夜店が並び、高津宮においてももっとも荘厳で賑わいのある祭です。
主催：浪速・高津宮 ☎ 06-6762-1122



氷柱(こおりはしら)が奉納される！? 難波神社 氷室祭

7月20日(月・祝)・21日(火)
難波神社境内
氷室祭は、野原に氷を貯蔵する氷室を見つけ、その氷を仁徳天皇に献上し以降氷室の制度が定められたとの故事により、製氷会社から氷柱が奉納され、夕方から参拝者にかわり氷が授与されます(無料)。ステージではアマチュアやプロの迫力ある太鼓の演奏を楽しめます。
主催：難波神社 ☎ 06-6251-8000



子どもが楽しめるお祭りです！ 第38回今宮戎こどもえびす

7月22日(水)・23日(木) 17:00~21:00
今宮戎神社境内
両日とも無病息災を祈願する湯神樂が行われます。特大スロープの雪遊びや特設ゲレンデの雪遊び、紙の魚釣りや紙相撲など手作り遊び、舞踏や紙芝居、漫才コンクールなどステージも楽しめます。大きな和紙に描かれたこども絵画の行灯はとてきれいです。
主催：今宮戎神社 ☎ 06-6643-0150



天神(てんじん)祭りの一行がミナミへ どんどこ船や文楽船、落語船

7月24日(金)・25日(土)
道頓堀川
天神祭りの前日と当日に、「どんどこ船」「文楽船」「落語船」が賑やかに道頓堀川を通ります。どんどこ船は祭の開催を知らせ、川を自由に航行して祭を盛り上げる役目を担います。一斉に櫂を漕いで進む姿は勇壮で、小中学生による子どもどんどこ船「子若(こわか)」も。
主催：大阪天満宮



100名のお坊さんが相合橋に！ 地蔵盆千日供養・護摩法要

8月24日(月)
17:00 六地藏巡り
19:00 護摩法要(相合橋)
お寺の集まる町だった千日前の昔の風情を偲び、ミナミの街の発展と商売繁盛を願い、伝統仏教の住職、修験者ら約100名による六地藏巡りと護摩法要が行われます。
主催：地蔵盆千日供養実行委員会



戦災を乗り越え地域を見守るお地蔵さん 出世地蔵尊 地蔵盆

8月24日(月)・25日(火) 14:00~18:00
出世地蔵尊
江戸時代より花街として賑わったこの地で古くから祀られ、芸妓や俳優が出世を願い参りにきた「出世地蔵尊」を、大阪大空襲後現地に祀られました。地域の子どもの健やかな成長を願って、地蔵堂に提灯が飾られ、読経が行われます。
主催：道頓堀振興会



商店街のお祭り

ご縁と福を授かりに行こう！ 夏の福笹・縁起物イルミネーション

7月1日(水)~8月18日(火) 15:00~24:00
戎橋筋商店街アーケード
戎橋筋商店街アーケード(TSUTAYA戎橋~なんばマルイ迄)に6つの巨大な光る縁起物が登場。「打ち出の小槌」、「えびたん(えべっさん)」、「招き猫」、「夫婦鯛」、「宝船」、「合格絵馬」の中から、あなたにぴったりの縁起物を探そう。
主催：戎橋筋商店街振興組合
☎ 06-6641-3362



お不動さん門前で夏の夜市を楽しんで 法善寺水掛不動尊表参道祭り

7月11日(土) 17:00~
南地中筋商店街
法善寺水掛不動尊の門前の各店が軒先で手作り料理や蚤の市をひろげ、特設ステージでは「河内音頭」や「だんじり祭り太鼓」で盛り上げます。鉄砲丸丸丈も熱演！先着で水掛不動さんのお参り用お線香プレゼントも。
主催：南地中筋商店街振興組合



粋のまちで「夏の麦酒祭」を楽しもう！ 第21回宗右衛門町夏祭り

7月22日(水)・23日(木) 17:00~22:00
宗右衛門町相合橋特設会場
落語家の司会でパフォーマンスや音楽を楽しめる「野外ライブステージ」には日本舞踊山村流・六世宗家山村友五郎氏も出演予定。町の有名店が出店する「野外ビアホール」など、花街として約400年の歴史を持つ宗右衛門町最大のイベント。
主催：宗右衛門町商店街振興組合
☎ 06-6214-5925



食の名店が手作り屋台でおもてなし 法善寺横丁まつり

8月10日(月)・11日(火) 16:00~21:00
法善寺境内
法善寺の境内を会場に、各店が趣向を凝らした手づくりの夜店を店頭に出して来街者とふれあいを楽しむ、なにわ情緒たっぷりのお祭り。文楽の奉納や、寄席などが開催されます。1982年に石畳舗装が復活したことを機に始まったお祭りです。
主催：法善寺横丁まつり実行委員会



ミナミで一番人気のキャラクターと会える！ 千日前商店街みにゃみん夏祭り

8月15日(土)・16日(日) 13:00~18:00
千日前商店街内
マスコットキャラクター「みにゃみん」が登場、オリジナルグッズの販売や、アート普及活動に取り組むポテトチップスによる人気のフェイスペイント(無料)をお楽しみください。江戸時代に法善寺などで営まれた千日回向が地名の由来です。
主催：千日前商店街振興組合
☎ 06-6211-8025



楽しみながらバリアフリー度を体感 なんばおにごっこ

9月26日(土) 10:00~16:00
ミナミ全域+リバーウォーク
車椅子でミナミを巡る「リアル人生ゲーム」。商店街内に設置のポイントを回り、クイズを解きながらまちの楽しさやバリアフリー状況を体感。とんぼりリバーウォークでは、絵画教室の先生・生徒によるフェイスペイント(顔・腕)を無料で行います。
主催：千日前商店街振興組合+NPO法人ちゅうぶ
☎ 06-6211-0825



大阪ミナミ400年祭特別開催！ 宗右衛門町「石畳」バルふたたび

11月3日(火・祝)
宗右衛門町商店街 ※詳細は今後ホームページで公表
一昨年に宗右衛門町通り「石畳の道」が完成時に初開催、老舗や名店のサプライズなメニューに大盛況だった「伝説のバル」が、400年祭を記念して再び開催。花街の粋をぜひ体験してください。
主催：宗右衛門町商店街振興組合
☎ 06-6214-5925



開催日は11月3日(火・祝)に決定！

ミナミの「街・商・芸」魅力まるごと体験しよう 戎橋筋商店街/大阪ミナミ体験博2015

10月9日(金)~18日(日)(コア期間**10月9日(金)~14日(水)**)
戎橋筋商店街ほかミナミエリア一帯
※申込受付9月1日(火)より(抽選)
こだわりの商い、路地横丁や道頓堀川、映画や芸能をはじめ懐深いミナミの魅力に触れていただくイベント。商店主らによる手作りの企画・運営で全30プログラムに1,500名をご招待(予定)。一時保育付きプログラムも！
主催：戎橋筋商店街振興組合
☎ 06-6641-3362



食と道具のまつり 体験・試食・実演！初コラボイベント

調理具を扱う専門店街・道具屋筋と、大阪なにわの台所・黒門市場のコラボレーションイベント。両商店街の店舗前ほかあちこちで体験・試食・実演しながら回遊(有料)して楽しめます。

第30回道具屋筋まつり

10月10日(土)・11日(日) 10:00~17:00
千日前道具屋筋商店街内
世界最大たいやき試食、掘り出し市、各店前イベントも盛りだくさん。
主催：千日前道具屋筋商店街振興組合
☎ 06-6633-1423



黒門秋の味覚市

10月10日(土)・11日(日) 10:00~17:00
黒門市場内
マグロの解体ショー、黒門市場の食材や道具屋筋のおもしろ道具が当たるガラポン抽選。
主催：黒門市場商店街振興組合
☎ 06-6631-0007

